

研究だより

2019年

4月 15日

NO.2 研究主任

マイスター&マイスター通信の活用法①

浜田小には、マイスターがいます。せっかくだからうまく活用して我々の教師としての腕を磨きたいものです。自分から声をかけて授業を見てもらおうと、4月1日の学校研究共有事項説明の際にお話ししました。なかなか自分からは・・・というのは、みんな同じです。では、まず自分から声をかけてみようと思い、先週、マイスターに声をかけて社会を見に来てもらいました。実は自信もなく、どうなるかもちょっと分からなかったけれど、ちょっと挑戦してみたかったので、あえて見てもらおうと思いました。

歴史の時代の長さを体感させたい

去年、6年生の初めの歴史の授業をみてのマイスター通信がありました。詳しくどんなことが書いてあったかはよく覚えていませんが、たしが、縄文時代はほかの時代と比べてすごく長い時間なのにただ「長い」で終わっていいの？そんな感じだったような・・・(違うかもしれませんが…)ただ、それを読んで、私の中に「私ならどう縄文時代の長さを子どもたちに分からせる？」という問いが生まれてきました。その時は、何ができるわけでもなかったのですが、ずっと気になっていた気がします。

それで、6年生を担当することになり、ふとその思いがよみがえり、紙テープを使って時代の長さを実際に作ってみてはどうか！?と思いつき、うまくいくか分からないけどやってみようと思ったのでした。

実際にやってみて、子どもたちは各時代の長さの違いを視覚的に実感し、なぜなんだろう?という疑問がわきました。知っている知識を使って、戦いが多い時代だからかな、平和だからかなと、考えを膨らませていました。さらに、縄文時代に至っては1万年=10mにもなり、とんでもなく長いことに驚きました。あまりの長さに驚いたのもあり、「なぜこんなに長く続いたのか」という問いに対して、真剣に考えようとすることができました。自分の経験や知識だけでなく、友だちの考えを聴きながら、思いを巡らせることができました。

歴史日記 ～時代を長さを表すと～ 4.9

今日、社会で時代を長さを表しました。私は、令和、平成、昭和、大正、明治しか時代は分からなかったけど、昔から令和まで248回も元号が変わったことがわかりました。令和から縄文時代まで長さを表してみると、そこにはたくさん時代がありました。聞いたことはあるけど、くわしくは知らないという時代が多くて、縄文時代は1万年も元号が変わらないのがびっくりしました。平成や昭和などは30年や20年ほどだけど、1万年というのはとても長いなと思いました。長さを表すと、言葉で1万年よりも本当に長いことが感じました。なので1万年も元号を変えなかつたのが私は、その国や町のリーダー(中心)になる人がいなくて元号を変えようと思っていなかったり、戦争が始まっていなくて、平和で安全に住みやすいくらしだったんじゃないかと思ったり、元号を変えると、それと同じにくらしが変わったり、戦争をしようとしたのかなと思いました。縄文時代の他に、もっと長く続いた時代があまりなくて調べてみても昔のくらしは家が草などでできていたり、食料は、いのししや鳥などをつかまえて、石や木でできた道具を作ったりして暮らしていたことがわかりました。でも今は、機械やコンピューターなどがあるから、よくなって便利になりました。その昔のくらしを知りたいなと思いました。

たしが!!何のことも生きた、昔のくらしを知りたいな!!

歴史日記をみても、子どもたちにとって興味深い課題提示だったことがわかりました。答えが分からないこそ、それぞれの意見が見えておもしろかったです。

また、マイスターに見ていただくことで、自分では気づかない部分や、自分が不安に思っていた部分などが明らかになりました。挑戦してみたいとき、自信がないときほど、マイスターの力を借りて、ヒントをいただくといいのかもしれませんが。

今回の授業は去年のマイスター通信がきっかけです。いつもマイスター通信をまじめに読んでいたわけではありません(忙しい時はつい斜め読みするときも…すみません)が、読んでいて、ん?と心に留まったところを大事にしたり、自分ならどうかな?とか、え?そうかなあ?と思ったりしながら読むといいのかなと、思います。マイスター通信から授業に使えるようなヒントをいただきましょう。

ほかにもマイスターのいい活用法があったらぜひ教えてください!募集中~!